

令和4年度 大館市立城南小学校 学校評価書 (前期)・年度)

A 学校教育目標

ふるさとに学び、どの子どもも喜んで活動する学校

B 目指す学校像

- 1 児童一人一人が自分の幸せを支える力を高める学校
- 2 保護者が安心して我が子を送り出せる学校
- 3 職員がチームで改善に取り組める学校
- 4 地域に笑顔で協力してもらえる学校

C 学校経営の特徴

- 1 主体的に学び合い、皆が力を確かに高める授業づくり
- 2 一人一人に寄り添い、組織的に個々を伸ばす指導の工夫
- 3 楽しくやりがいのある活動の工夫



春の大運動会
今年も、おうちの方々のたくさんの応援の中で、開催することができました。まだ、いろいろな制限があったり短縮したりの日程でしたが、青空の中元氣一杯頑張りました。



小中合同あいさつ運動
一中学区の取組として、毎年行っている小中合同あいさつ運動です。あいにくの天気でしたが、雨空に負けない元氣な挨拶の声が響いていました。中学生の挨拶の声なども小学生のよい刺激になりました。



D 評価

A
児童の
状況

| | | | | |
|------------------|--------|------------|---|-----------------------------------|
| 自己評価Aと外部評価Bの評価区分 | きわめて良好 | 自己評価Bの評価基準 | 5 | 実現状況は極めてよく意識も高い／数値目標に対し100%以上達成 |
| | 良好 | | 4 | 実現状況は良好で意欲もある／数値目標に対し80～99%達成 |
| | おおむね良好 | | 3 | 実現状況はおおむね良好／数値目標に対し60～79%達成 |
| | やや不十分 | | 2 | 実現状況はやや不十分で取組が不安定／数値目標に対し40～59%達成 |
| | 努力を要する | | 1 | 実現状況は不十分で努力を要する／数値目標に対し39%以下の達成 |

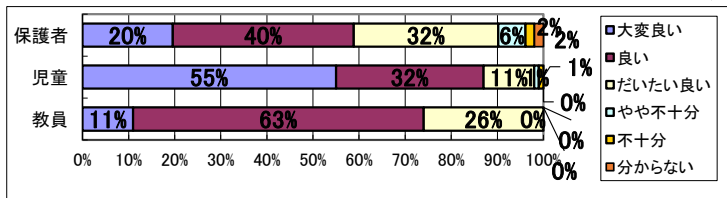
I 自主的・自律的な生活

| 児童の状況 | 自己評価A | 学校関係者評価 | 学校関係者評価委員のコメント |
|--|---|---------|--|
| 明るく心のこもった挨拶をし規律ある落ち着いた生活を送りながら、主体性や責任感をはぐくもうとしている。 | 前期 おおむね 良好 | 良好 | あいさつマスターの取組を通して、子ども達は「自分から進んであいさつしている」に対して55%が大変良いと評価している。また、新「城南っ子生活の約束」を基にして「きまりを守って落ち着いた学校生活を送っている」に対して51%が大変良いと評価している。さらに、児童のほとんどが「学校は楽しいと、話している」以上3点を評価して良好とした。後期は校外でのあいさつの改善と集団生活の中での一一人の活躍に期待したい。 |
| と自己 己校評 の価 改の 善概 策要 | 【前期(一年度)】新しく見直した「城南っ子生活の約束」と学校生活全般の状況や改善策を載せた生徒指導通信を基に、だれもが安心・安全な生活ができるよう、学年集会等を活用して指導している。挨拶に関しては、あいさつマスターの取組により、習慣が少しずつ身に付いてきているが、児童と大人との意識の差もあり、特に校外での挨拶は弱いと感じている。相手も自分も気持ちよく生活できるように、挨拶することのよさを実感させながら後期も取組んでいきたい。規律ある落ち着いた生活については、機を逃さずに学校生活のルールを確認する場を設けることで、子ども達の意識を高めることができた。様々な集団生活の中で、一人一人が活躍できるよう、職員間で情報を共有しながら、学年・学級の実態に合わせて、更に徹底を図ってきたい。 | | |
| | 【年度(→次年度)】 | | |

| 評価指標 | 実践課題 | 主な取組 | 自己評価B | |
|-------------|---------------------------------|---|-------|----|
| | | | 前期 | 年度 |
| 1 基本的な生活習慣 | (1)校内外での元気な挨拶 (2)規律ある落ち着いた生活 | 挨拶運動(児童、保護者、職員)、「めざせ!あいさつマスターへのみち」「あいさつリーダー運動」の実施、学級活動や集会など学校生活全般を通した指導 社会規範やルール遵守の指導(城南っ子の約束、生徒指導だより) | 3 | |
| 2 集団生活・集団活動 | (3)集団の一員としての自覚ある言動 | 学級活動の充実、当番活動、係活動、各種行事、委員会活動の推進、学年集会の実施、ふれあい集会、城南オリンピック | 3 | |

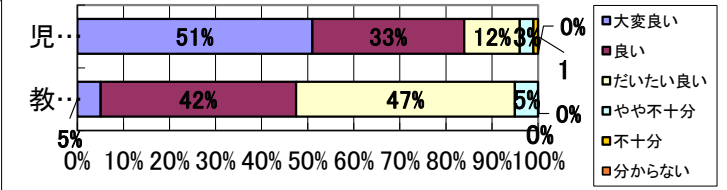
[1]に関するデータ

○自分から進んで、地域や学校であいさつしているか。(平均値 保護者3.68 児童4.40 教員3.84)



- ◇保護者の挨拶運動・登校指導
5月～10月(PTA)
- ◇あいさつマスターの奨励
5月、7・8月、11月(自己評価→あいさつマスターシール)
- ◇教員の挨拶運動
4月～2月(学校安全日) 3月(学校職員)
- ◇委員会の挨拶運動(通年)
11月(各委員会) 7・8月(小中連携挨拶運動)

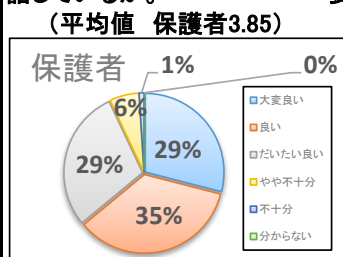
○きまりを守って落ち着いた学校生活を送っているか。(平均値 児童4.29 教員3.47)



- ◇新「城南っ子生活の約束」の配付
- ◇学年集会の開催
各学年で統一した指導
- ◇生徒指導通信「城南っ子」の配付
- ◇委員会による呼びかけ

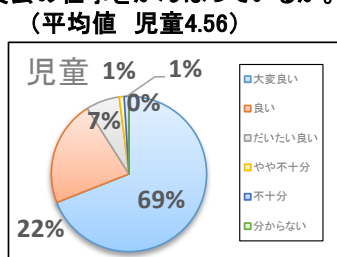
[2]に関するデータ

○子どもは、学校が楽しいと話しているか。(平均値 保護者3.85)

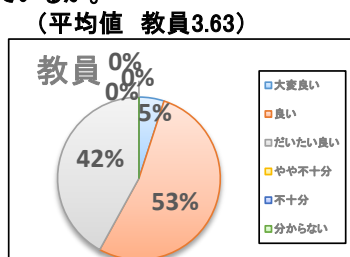


- ◇学年目標発表集会の開催
各学年とも趣向を凝らしながら、全員が心を合わせて発表することで、意識付けが図られた。

○学級のみみんなのために、係や当番、委員会の仕事をがんばっているか。(平均値 児童4.56)



○集団の一員としての自覚ある行動をしているか。(平均値 教員3.63)



- (学年目標の例)
2年「なかまときょうかさいごまで 元気にゴー」
3年「なかま2～はあと(はくしゅ あいさつ ともだちへのやさしさ)～」
6年「やってみようひまわり学年」

ア 児童の状況

II 思いやりの心・たくましい心

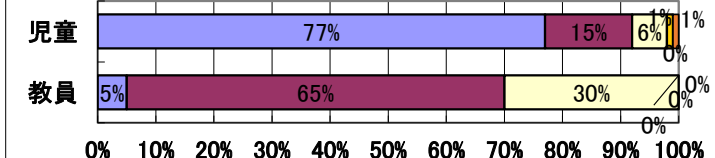
| 児童生徒の状況 | 自己評価A | 学校関係者評価 | 学校関係者評価委員のコメント |
|---|--|---------|--|
| 自分のよさや他人のよさを認め合い、切磋琢磨した学校生活を送り、豊かな人間性をはぐくもうとしている。 | 前期 おおむね良好 | おおむね良好 | 自己有用感を育むための様々な工夫により思いやりの心が育ち、それが友達と仲良く生活していることにつながっている。道徳の授業については、子供たちが満足していることが伺える。学校全体での生徒指導が充実しているように思われる。更に工夫した取組で一人一人を育ててほしい。 |
| 校自己評価の概要と学 | 【前期(→年度)】自己有用感を育むため、各種集会や縦割り班活動で異学年との交流の機会をもつようにした。上級生は下級生を思いやりたり手本になって行動しようとしたりする姿、下級生は感謝や憧れの気持ちをもって活動する姿がそれぞれに見られた。しかし、「キラッとさん」の活動そのもののマンネリ化も見られるため、学級から学校・家庭へと周知の場を広げ、一人一人がよさを発揮したりお互いのよさに気付いたりできるように活動を工夫していきたい。児童理解については、ハウレンソウカードの活用や職員同士の情報交換や事例を挙げての研修等、様々な場面で進めてきた。児童の困り感に寄り添い、チームで対応できるように、継続して指導にあたりたい。 【年度(→次年度)】 | | |

| 評価指標 | 実践課題 | 主な取組 | 自己評価B | |
|---------|-----------------------------------|--|-------|----|
| | | | 前期 | 年度 |
| 3 自他の理解 | (4)自己有用感の育成 (5)道徳性、道徳的な判断力等の育成 | 人間関係づくり(学級活動など)、縦割り班活動、集会活動、なかよしアップタイム、一人一人のよさを認め合う場の設定(キラッとさん活動の充実) 道徳科の授業の充実、各教科等との関連的指導の充実 | 3 | |
| 4 児童理解 | (6)学校全体での生徒指導の充実と支援を要する児童への指導対応 | 職員会議での情報交換、教育相談、校内特別支援委員会、アンケートや調査の実施、「ハウレンソウカード」による校内生徒指導体制の強化、チームによる課題対応 | 4 | |

[3]に関するデータ

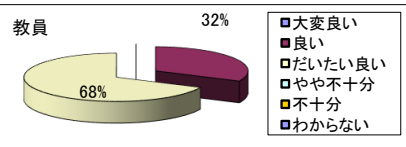
○友達と仲良く生活しているか。

(平均値 児童4.63 教員3.74)



○道徳の時間の充実

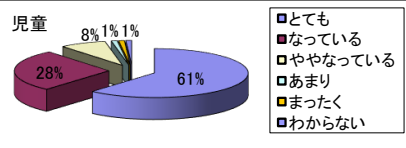
(平均値 教員3.32)



◇キラッとさん(掃りの会での発表紹介、学校・お家キラッとさんの活動)

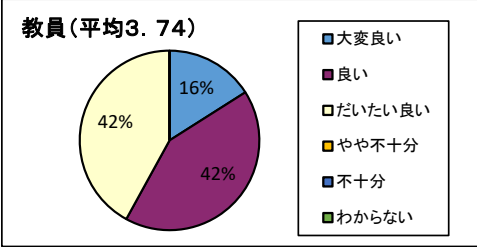
- ◇なかよしアップタイム(縦割り班による活動)の実施(学期に1回)
- ◇ふれあい集会、1年生と仲良くなろう縦割り班集会など各種集会や縦割り班掃除・城南スポーツタイムでの交流や関わり

○道徳の授業は自分にプラスになっているか。(児童4.47)

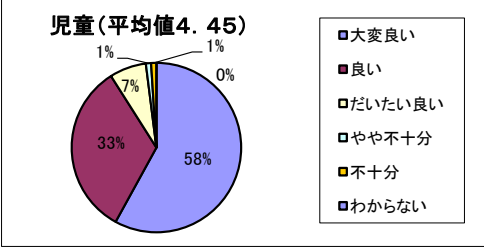


[4]に関するデータ

○学校全体での生徒指導の充実と支援を要する児童への指導対応



○あなたは友だちの良いところや頑張ったことを見つけてあげているか。



- ◇教育相談…5月19日
- ◇いじめ調査アンケート・教育相談…6月23日
- ◇生徒指導カード作成…1学期のことは夏休み中
- ◇職員会議での情報交換
- ◇特別支援教育委員会の開催
- ◇いじめ・不登校対策委員会の開催と機を逃さない対応

| 学年 | 学期 | 年 | 月 | 日 | 時 |
|---------|-----------------|-----|----------|----------|-----|
| 記入欄 | いじめ | 不登校 | 遅刻 | 早退 | けが |
| 内容 | 理由 | 能力 | 子どもからの相談 | 保護者からの相談 | その他 |
| 保護者への連絡 | 有 | 無 | 無 | 無 | その他 |
| 備考 | (どこで・だれが・どのように) | | | | |



ハウレンソウカードの活用
状況把握・共通理解に努める

1年生と仲良くなろう縦割り班

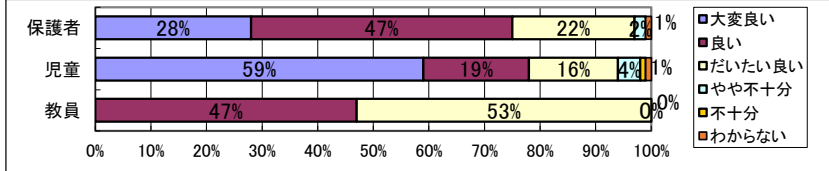
ア 児童の状況

| 児童生徒の状況 | | 自己評価A 学校関係者評価 | | 学校関係者評価委員のコメント |
|---|---|---------------|--------|---|
| 食や運動を通して、健康や体力への関心をもち、望ましい生活習慣を形成しようとしている。 | 前期 | おおむね良好 | おおむね良好 | チーム一丸となって運動の機会の確保に努めコロナに負けない体力づくりに取り組んでいる。昨今コロナの影響による子ども達の心身の低下が懸念されているが、支援を要する子についても連携して早期介入に努めている。今後も家庭との連携を図り良好な関係づくりに取り組んでいきたい。 |
| | 年度 | | | |
| 学自 校己 の評 改価 善の 策 の概 要と | <p>【前期(→年度)】前年度の反省として、運動する機会の保障が課題となっていたため、各指導部と連携して城南スポーツタイムの実施時間を確保するようにした。また、内容としては、毎年課題となっている走力と握力の向上をねらった活動を行ったところ、時間いっぱい体を動かす姿や友達と一緒に楽しみながら何度も取り組む姿を見ることができた。近年コロナの影響もあって、走力、持久力の低下が見られるため、後期も、継続して走力の向上を中心に運動させていきたい。健康や生活習慣の指導については、家庭との連携が大切なため、保健便りを通して伝え、同じ方向で子ども達に指導できるようにする。食育については、SDGsの観点から、残食調査は効果的だった。さらに、栄養バランスについては、2学期以降に控えている家庭科や保健の学習を通して指導していくようにしたい。その際に栄養職員とも連携をとるように計画していきたい。</p> <p>【年度(→次年度)】</p> | | | |

| 評価指標 | 実践課題 | 主な取組 | 自己評価B | |
|-----------|---------------------------------|---|-------|----|
| | | | 前期 | 年度 |
| 5 保健衛生・食育 | (7)健康的な生活習慣の向上 (8)望ましい食習慣の形成 | メディアコントロール週間、健康チェック、保健だよりの工夫、委員会活動、家庭との連携、ガラガラあわわタイム、養護教諭の保健指導 食育および給食指導、委員会活動、残量調査、栄養バランスチェック、わんだふる給食PR | 3 | |
| 6 体力づくり | (9)継続的な体力づくりの実践 | 実態把握に基づくパワーアップ運動と教科体育の充実、城南スポーツタイム①～③、外遊びの奨励 | 4 | |

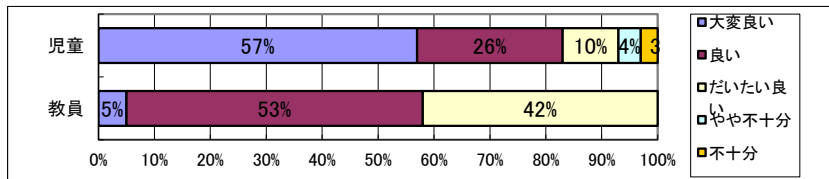
【5に関するデータ】

○早ね・早おきをし、朝ごはんを食べているか。(平均値 保護者3.95 児童4.31 教員3.47)



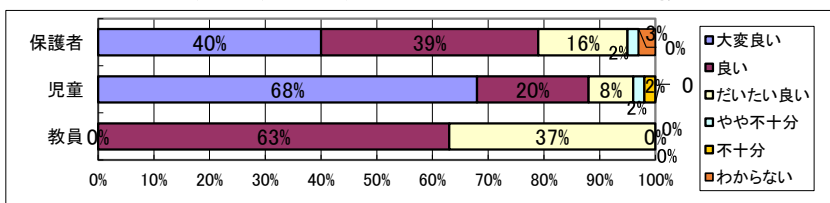
交流しながら活動に取り組んだ城南スポーツタイム

○給食では好き嫌いをしないで食べているか。(平均値 児童4.29 教員3.63)



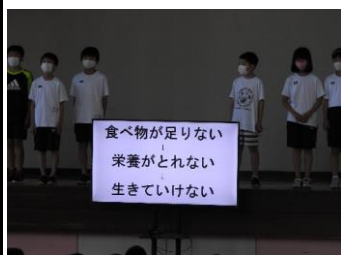
【6に関するデータ】

○自ら進んで体を動かし、よく運動をしているか。(平均値 保護者4.23 児童4.49 教員3.63)



外遊びイベント実施のお知らせ

| ◇城南スポーツタイム 実施内容 | |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・3学年ずつ実施 ・Jタイムの15分間 | |
| <p>《晴天時》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・短距離走 ・登り棒 ・雲梯 ・鉄棒 | <p>《雨天時》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全力でジャンプ 10回 ・グーパー 20回 ・工夫した運動(体幹トレーニング等) |
| <p>○時間いっぱいまで子ども達は体を動かすことができていた。 ○実施回数の保障を目指して行うことはできたため、今後は内容の向上を目指していきたい。</p> | |



6月に保健委員会が集会で「残量調査の結果」と「食べ物を大切にしましょう」と呼びかけをした。

ア 児童の状況

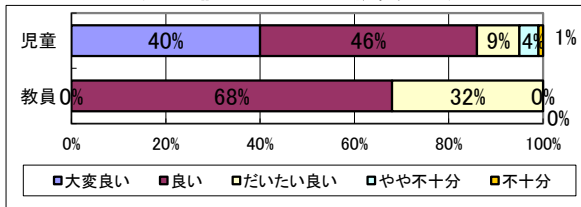
Ⅳ 基礎学力

| 児童生徒の状況 | 自己評価A | 学校関係者評価 | 学校関係者評価委員のコメント |
|---|---|---------|---|
| 主体的に授業に臨み、基本的学習習慣や学び方を身に付けながら、学力を向上させようとしている。 | 前期 おおむね良好 年度 | 良好 | 授業参観からは、集中して取り組もうとする児童の様子を見ることができた。友だちの意見に身体を向けて聞こうとする姿が多かった。深い学びへ向かうための課題や発問がどうあれば良いか、組織として考えたい。 |
| と自己評価の改善の善概要 | <p>【前期(→年度)】基本的学習習慣の定着のため、全校が共通した指導ができるよう、4月に「学習スタンダードJ」をもとにオリエンテーションを行った。重点月の4月と、変容をみる7月には相互評価の形でICTを活用して実態把握も行った。また、言語活動の充実を目指し、国語科と関連させながら朝の会にスピーチタイムを設定し、テーマや課題について職員間で情報交換しながら話す・聴く力の向上に努めている。今後は、子ども同士の授業参観なども含め、学級から学年・学団などにも場を広げ、反応言葉を活用して学び合いを高めていきたい。</p> <p>【年度(→次年度)】</p> | | |

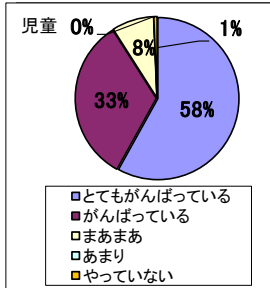
| 評価指標 | 実践課題 | 主な取組 | 自己評価B | |
|----------|-----------------|---|-------|----|
| | | | 前期 | 年度 |
| 7 学習への取組 | (10)基本的学習習慣の定着 | 学習のきまりの指導、家庭学習の奨励(全校ノート展の実施) | 3 | |
| | (11)基礎・基本の確かな定着 | 実態把握に基づく分かる授業づくり、全校一斉テストの実施、TTの効果的な活用、放課後や長期休業中を利用した補充指導 | | |
| | (12)言語活動の充実 | 授業における学び合い、シンカタイムの充実、ICTスキルの向上と活用、スピーチタイムと反応言葉の活用、振り返りの充実 | | |
| | (13)読書活動の充実 | 読書・読み聞かせの推進、図書館経営、情報活用の充実 | | |

[7に関するデータ]

○学習のきまりを守って学習しているか。
(平均値 児童4.19 教員3.68)

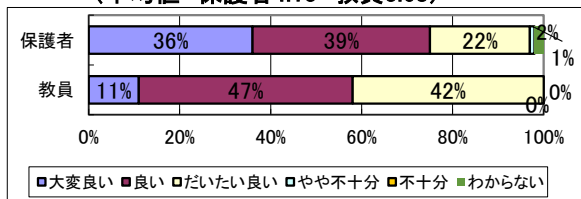


○家庭学習をがんばっているか。
(平均値 児童4.36 保護者3.90)



- ◇学習のきまりの徹底
 - ・「学習スタンダードJ」の共通理解と指導
- ◇家庭学習ノート紹介
 - ・PTAに合わせてノート展開催

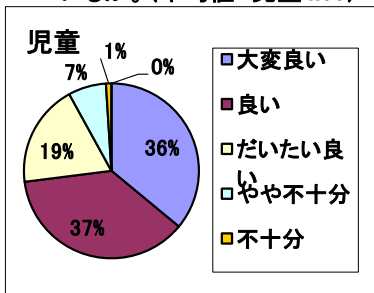
○基礎・基本の確かな定着が見られるか。
(平均値 保護者4.13 教員3.68)



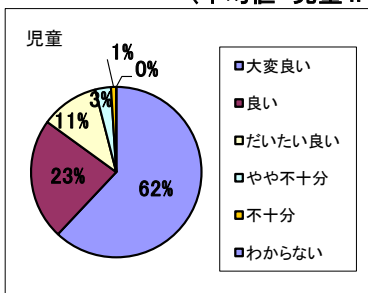
- 言語活動の充実を図っているか。
(平均値 教員3.68)
 - ・主に国語科を中心にした学び合い
 - ・学習内容や発達段階に応じた学習の工夫
 - ・スピーチタイムの実施やシンカタイムの話合い

○読書習慣の定着
(平均値 児童4.38 教員3.84)

○授業で、進んで発表や反応をしているか。(平均値 児童4.00)



○個に応じた学習で勉強が分かるようになったか。(平均値 児童4.44)



個に応じた学習の取組の例

- ・3～6年に算数の2C3Tを実施
- ・放課後や長期休業中の個別指導
- ・学習のまとめにおけるICTの活用

進んで自分の考えを伝えようとする姿

イ
**学校運営
の状況**

| | | | | |
|-----------------|--------|------------|---|--------------------------------|
| 自己評価Aと外部評価の評価区分 | きわめて良好 | 自己評価Bの評価基準 | 5 | 目指す方向が共通理解され取組も組織的で意識が高く成果も顕著 |
| | 良好 | | 4 | 目指す方向が共通理解され取組も組織的で成果が多く見られる |
| | おおむね良好 | | 3 | 目指す方向が明確で一定の取組が行われており成果も見られる |
| | やや不十分 | | 2 | 目指す方向がやや不明確で取組もばらつきがあり成果が安定しない |
| | 努力を要する | | 1 | 目指す方向が不明確で取組体制や取組方に解決すべき課題が多い |

V 組織運営

| 学校の状況 | 自己評価A | 学校関係者評価 | 学校関係者評価委員のコメント |
|---|--------------|---------|--|
| 重点目標の具現化に向けて、教職員がチーム城南として連携し、組織的・主体的に取り組んでいる。 | 前期 おおむね良好 | 良好 | 校長のリーダーシップのもと、主任層を中心に、各教員へ経営方針が浸透している様子を授業や掲示物から感じた。ICT授業の公開も控えていると思うので何を優先するか、教員の多忙化防止の観点からも考えたい。 |
| 学自 己の 評改 価 善の 策概 要と | 年度 | | 【前期(→年度)】経営方針や重点目標については、全校で共通理解を図り、実践してきている。城南っ子の基本3行動を確実に達成できるように、重点月と活動内容を一致させたり、活動内容を段階的にしたりと、各指導部が中心となって取り組んでいる。ふるさとキャリア教育では、子どもたちにどのような力がついているのか振り返る場面を意図的に設け、PDCAサイクルで指導改善をしていきたい。11月にはICT授業の公開を控えているため、校内研修でスキルアップを図ったり、国語科を中心としてICTを活用した授業づくりの実践を積み重ねたりしている。 【年度(→次年度)】 |

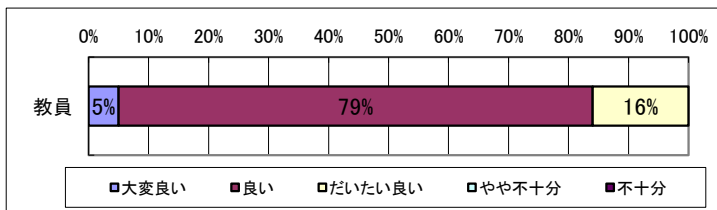
| 評価指標 | 実践課題 | 主な取組 | 自己評価B | |
|--------------|--|--|-------|----|
| | | | 前期 | 年度 |
| 8 学校の明確な経営方針 | (14)経営方針や重点目標、施策の明示 (15)城南っ子基本3行動に向けた組織的な実践 | 職員会議、PTA総会等での周知、校報での明示 指導部による具体的な施策の提案、学年部による継続した実践 | 3 | |
| 9 教育課程の編成と実施 | (16)特色ある教育課程の編成と実施 | 付けない力を明確にしたふるさとキャリア教育の推進 | 3 | |
| 10 職員研修 | (17)授業改善と指導力の向上(2つのICTで) | 国語の研究、諸研修への参加、校内研修や学年部での教材研究 | 3 | |

[8に関するデータ]

○経営方針や重点目標、施策の明示(平均値 教員3.95)

教員 大変良い(16%) 良い(63%) だいたい良い(21%) やや不十分(0%) 不十分(0%)

○城南っ子基本3行動に向けた組織的な実践をしているか。(平均値 教員3.89)

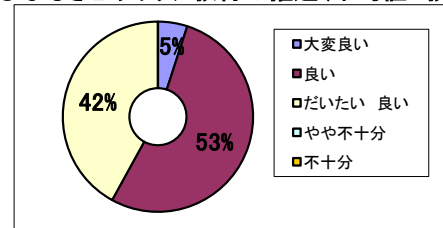


城南っ子基本3行動

- いつでも姿勢正しく、相手の話に反応します。
- どこでも安全に気を付け、命を守ります。
- だれにでも自分からよいあいさつをします。

[9に関するデータ]

○ふるさとキャリア教育の推進(平均値 教員3.63)

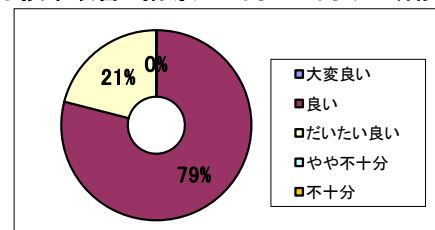


○今年度の活動例

- ・3年 わがまち大館調査隊:大館市の行事や伝統の調査
- ・4年 やさしい大館づくり隊:高齢者や障害者のための施設調査、講話や体験
- ・5年 プロジェクトJV:地域で働く方々の講話や職場体験
- ・6年 プロジェクトJファイナル:ふるさと大館を守り、支える”人”にスポットを当て、これからの未来大館についてCMで発信

[10に関するデータ]

○授業改善と指導力の向上に向けた研修(平均値 教員3.79)



○授業研究会の実施(予定含む)

- 6月:国語科提示授業(6年)
- 9月:国語科指定訪問(1年)
- 10月:算数科指定訪問(3年)
- 11月:体育科指定訪問(5年)、ICT公開授業研究会(1、3、5年)



6年 ICTを活用した国語科授業

イ 学校運営の状況

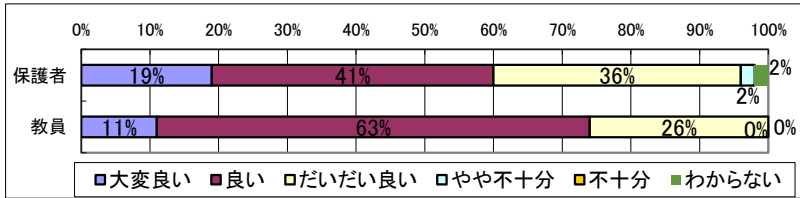
VI 保護者・地域との連携

| 学校の状況 | 自己評価A | 学校関係者評価 | 学校関係者評価委員のコメント |
|--|---|---------|--|
| 学校の取り組みが分かりやすく保護者や地域に伝えられ、地域の教育力が有効に活用されている。 | 前期 | おおむね良好 | ・地域や保護者との連携が制限される状況において、学年便りや学校報等により情報発信に努めていること、また、ブログの開設により保護者との距離も保っていることを評価したい。多くの業務がある中で可能な限り継続できることを期待します。 |
| | 年度 | | |
| 学 校 自 己 の 評 価 の 善 悪 の 概 要 と 策 略 | 【前期(→年度)】学年便り、学校報の発行などで、子ども達の学校での様子を伝えることに努めた。今年度は、ブログを開設し子ども達の情報が素早く保護者に伝わるように心がけた。回数を増やし保護者に満足してもらえるように取り組んでいきたい。また、外部講師によるクラブ活動や職業体験、保護者による朝のあいさつ運動なども、コロナ禍の中でも今年度も順調に行われており、今後も感染対策を講じて実施の方法を検討し、子ども達の活動に生かせるように工夫していきたい。 | | |
| | 【年度(→次年度)】 | | |

| 評価指標 | 実践課題 | 主な取組 | 自己評価B | |
|--------------|------------------------|--|-------|----|
| | | | 前期 | 年度 |
| 11 情報の受発信 | (18)積極的な情報発信 | 校報・学年通信の充実、メールやホームページによる情報発信 | 3 | |
| | (19)保護者・地域からの情報収集 | PTA諸会合、地域訪問、学年懇談や個人面談、民生委員と語る会、学校評議員会、保護者アンケート | | |
| 12 地域の教育力の活用 | (20)PTAとの連携 | 学校行事・諸活動等へのPTAの参画及び協力(一人一役・挨拶運動) | 3 | |
| | (21)学校支援活動事業を通じた教育力の活用 | 地域学習の充実、保護者・外部講師による学習支援 | | |

[11に関するデータ]

○行事や子どもたちの学校での活動の様子を分かりやすく伝えているか。(平均値 保護者3.91 教員3.84)



- 学校ホームページ
- 学校報毎月更新
- ブログの更新 随時
- 学年だより 毎週発行
- 学校報 毎月24日頃発行
- ※各町内へ回覧用に配付
- 一部の町内では全戸配付

○授業や行事の公開、面談等の機会の設定はよくなされているか
平均値 教員3.95

教員 大変良い(16%) 良い(63%) だいたい良い(21%)
やや不十分(0%) 不十分(0%)

- ・授業参観 4月16日、6月30日
- ・祖父母参観 6月30日
- ・個人面談 7月25日～28日・随時

6月授業参観



[12に関するデータ]

○学校行事や諸活動に保護者の協力を得るよう、十分な働きかけをしているか。(平均値 保護者3.89 教員3.89)

保護者 大変良い(22%) 良い(45%) だいたい良い(31%) やや不十分(2%) 不十分(0%)
教員 大変良い(11%) 良い(68%) だいたい良い(21%) やや不十分(0%) 不十分(0%)

○家庭や地域の教育力を、学校の教育活動に積極的に活用しているか。(平均値 保護者4.09 教員3.79)

〈学校支援活動事業〉

- ・学習指導への補助・・・読み聞かせ(毎週木曜日 ※読み聞かせボランティア)
- 校外学習の引率補助



読み聞かせ活動



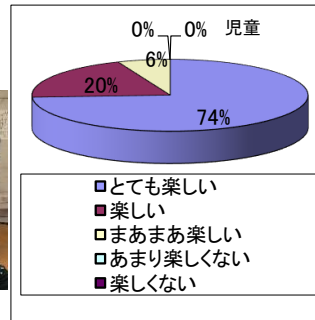
職業講話(テレビ番組制作)



お茶クラブ

- ・クラブ活動の指導・・・英語、パソコン、お茶、ダンス、手話、バルンアート

- ・行事等への支援・・・あいさつ運動、交通安全指導
- ・PTA研修会・・・メディアについての講演会



学校の外に出かけたり、地域の方と一緒に勉強や活動したりするのは楽しいですか(平均値 児童4.59)